

競 技 注 意 事 項

1、規 則

- ① 競技は2025年日本陸上競技連盟規則・及び本競技会要項、申し合わせ事項によって実施する。
- ② 競技規則 TR16.5「不正スタート」、項目について。
音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意(グリーンカード)に留めるが、
繰り返し行う場合は、警告(イエローカード)を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の
警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外を行うものではない。

2、練 習

- ① ウォーミングアップ・アップジョグは、陸上競技場及び競技場外周路や公園内園路を利用。
ただし、公園内散策など一般の方への接触など気を付けること。また、集団走は園路歩行者優先のため厳に慎む事。
- ② 競技開始15分前まで、本部前直走路を除き競技場内での練習を、係・マーシャルの指示により許可する。

3、競技場・競技用靴について

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。フィールドは日本陸上競技連盟施設検定公認の人工芝です。
- ② 本競技会は、競技者が日本陸上競技連盟競技規則TR5.2に適合したWAシューズリストで承認されている
市販のシューズを競技に使用していることを前提としているので、シューズチェック(検査)は実施しない。
シューズに関する主要規則の確認
*靴底厚さは、20mm 以内。
*靴底は、11本以内のスパイクを取り付けられる構造。
*11個までの任意のスパイクを使用することができ、その取り付け位置は11ヶ所を超えない。
*スパイクの長さは、9mm以下、その長さの1/2が4mm四方の定規に適合するように作られたもの。
*購入した状態で使用することが前提で、インナーソールの変更等靴底厚さが変わっていない事。
原則として、WAリスト承認外(または靴底厚さ測定値が規定外)シューズの場合、競走・試技を認められません。
競技前・中に審判員が疑義を抱いた競技用靴に対し、競技後に審判長の権限で検査をすることがあります。

4、競技者の招集について

- ① 招集所は、陸上競技場内、第4コーナー器具庫内に設ける。
- ② 招集開始時刻及び完了時刻は、プログラム記載競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種 目	時 刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始30分前開始 競技開始15分前完了

- ③ 招集は1回で、競技者本人(代理人は認めない)が招集所において、競技者係から上記招集開始・終了時間に
確認を受ける。
全ての競技者は、自身の競技用上衣につけたアスリートビブス(ナンバーカード)を係に提示し、確認を受ける。
- ④ 全てのトラック競技者には確認完了後、写真判定用『腰ナンバー標識』を配付する。
各招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権をするものとし処理する。
スタート・試技場所に、招集手続き確認がなく集合した場合、出場は認められない。

⑤トラック競走競技の招集確認完了者については、競技者係の誘導・指示により、各競技スタート地点後方へ移動。

競技者はスタート位置後方に集合し、出発係から点呼・確認を受ける。

この時、『アスリートビブス』と、写真判定用『腰ナンバー標識』を右腰後部につけてあること。

点呼確認完了競技者は出発競技者係の誘導・指示により、スタート位置に移動し、準備待機する。

⑥ 競技場の入退場については、マーシャル及び競技役員の指示に従う。

- ・ 競技者の手荷物は、スタート前に係の指示で、指定された場所にコンパクトにまとめ置く事。
- ・ フィニッシュ後・退場の際は、特に手指消毒・手洗い・洗顔等感染防止の手順を踏むこと。

5、アスリートビブス(ナンバーカード)および腰ナンバー標識 について

① 一般・大学・クラブのアスリートビブス(ナンバーカード)は、団体受付で配布したものを使用する。

高校・中学生については、高校・中学体連陸上競技専門部指定のものを使用する。

② アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつけること。

③ 競技者は、ユニフォームの裾で腰ナンバー標識が隠れないように着用すること。

④ 『写真判定用腰ナンバー標識』は右腰後部につけ、フィニッシュ競技終了後、係へ返却すること。

6、3000m・5000m競技のスタート方法について

3000m・5000m競技は、すべてグループスタートを採用する。

その場合のスタート方法は、各組の2／3までが内側スタート、残りの1／3が外側スタートとなる。

なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する縁石は設置しない。

7、記 録 ・ 記録証

① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。

②トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。

③ 競技記録判定は確定後、掲示・記録結果放送を行う。また後日Top8(決勝)一覧表を当協会ホームページに掲載する。

④ 全種目とも、総合1位～8位(Top8、入賞者)には、記録証を授与します。

⑤ 一般・大学・クラブチームの入賞者は、総合結果が確定次第放送連絡を行いますので、本部室に記録賞を受取りにお出で下さい。

なお、入賞した競技者が集合できないときは、チームの代表者または代理者が、本部に受け取りにお出で下さい。

中学校・高校の入賞者は、顧問・指導者の先生方にお渡しますので、本部に記録賞を受取りにお出で下さい。

⑥ 記録証明証を発行希望する競技者は、本部へ連絡申し出てください。(発行手数料(郵送料含)、¥500)

8、競技継続について

① 競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

② 競技会要項 14、②に示す失格について。

一般記録会なので、ペースメーカー(レースペースリーダー)として本競技会に参加している(周回ラップの乱高下等)と審判長判断された場合、特定競技者(団体)への助力と見なし、競技運営上他の競技者の競技に支障を生じるので、当該競技者(団体)を失格扱いとします。(TR6. 3. 1 適用)

③ 競技会要項 14、③に示す競技継続打ち切りの実施予定について。

下記の【 】に示す時間を、その競技の周回通過(フィニッシュ400m前)制限の時間です。

共通男子 …3000m【10分30秒】…5000m【16分00秒】

共通女子 …1500m【 4分30秒】…3000m【12分00秒】

9、抗 議

2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則TR8によるものとする。

10、競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

- ① 上半身の衣類。製造会社・ロゴ:1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm以内、学校名・ロゴ:大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
- ② 下半身の衣類。製造会社・ロゴ:1ヶ所・40 cm²まで文字高さ5cm以内、学校名・ロゴ:大きさ制限なしで1つまで。
- ③ バッグ・タオル(ブランケット含む)。製造会社・ロゴ:1個・最大40cm²まで文字高さ 5 cm以内
- ④ ソックス・帽子・手袋(対になっているものはそれぞれに1つずつ)。製造会社・ロゴ:1個・最大 10 cm²まで文字高さ 4 cm以内

11、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、その競技開始1時間前までに総務へ申し出ること。
プログラムへの追加については、主催者番組編成上での未・誤編成・誤記等によるもの以外は受け付けない。
- ② 競技場内グラウンドには、競技者・競技役員以外が入ってはいけない。
- ③ 競技場内グラウンドの指示された区域・場所での通行・進行方向が指示されている時は、係・マーシャルの指示に従うこと。
競技者は清潔で、不快に思われないようにデザインされ縫製された服装で競技すること。
- ④ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
また、携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑤ 待機場所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努め、自身の出したゴミは自身で処理し持ち帰る。
(各団体や学校の顧問・引率の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)
- ⑥ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に参加していることが望ましい。
- ⑦ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。